集合論・中間試験 (2006/11/30)

1. 次の命題について以下の問に答えよ。[5 点 x 2]

 $\forall a \in \mathbb{N} \ (\exists r \in \mathbb{R} \ (a < r))$

- (1) この命題を通常の文章として書け。
- (2) この命題の否定を通常の文章として書け。
- 2. P と Q を命題とする。このとき命題 $\neg(P \Rightarrow Q)$ の必要十分条件は $(\neg P) \land Q$ であることを示せ。(例えば真理表を用いよ。) [5 点]
- 3. A, B, C を集合とする。 $A \cap B = A \cap C$ かつ $A \cup B = A \cup C$ であることと、B = C であることは同値であることを示せ。 $[5 \ 点]$
- 4. べき集合 (power set) の定義を答えよ。また $A = \{1,2\}$ であるとき、A のべき集合を具体的に要素を書きあげることによって表せ。[5 点]
- 5. 空集合はただ一つであることを示せ。ただし空集合の存在は仮定してよい。[5 点]
- 6. $\mathbb{R}_{>0}=\{r\in\mathbb{R}\mid r>0\}$ とおく。 $r\in\mathbb{R}_{>0}$ に対して $I_r=\{x\in\mathbb{R}\mid -r< x< r\}$ と定める。このとき以下の問に答えよ。[5 点 × 2]
 - (1) $\bigcap_{r\in\mathbb{R}_{>0}}I_r=\{0\}$ を証明せよ。
 - (2) $\bigcup_{r \in \mathbb{R}_{>0}} I_r = \mathbb{R}$ を証明せよ。
- 7. 二つの写像 f: A → B, g: B → C について、以下の問に答えよ。[5 点 × 2]
 - (1) f, g 共に単射であるならば、合成写像 $g \circ f$ も単射であることを示せ。
 - (2) 合成写像 $g \circ f$ が全射であるならば、g は全射であることを示せ。
- 8. 以下の条件をみたす写像 f を具体的に作れ。[5 点 imes [5]
 - (1) $f: \mathbb{N} \to \mathbb{N}$ であって、全射ではあるが単射ではないもの。
 - (2) $f: \mathbb{R} \to \mathbb{R}$ であって、単射ではあるが全射ではないもの。